

**浅水管理と朝・夕の灌漑で分けつの発生を促進！  
田ワキ対策を行い、根の健全化を図りましょう！**

### 1 5月31日現在の生育診断圃の生育状況 全般に平年並

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	残存アミノア 態窒素 (mg/100g乾土)
はえぬき 酒田市荻島 5/9移植	本年	26.1	269	6.2	37.8	10.7
	前年	27.5	149	5.3	30.4	9.3
	平年	25.8	161	5.2	33.7	8.2
	平年比	101	167	+1.0	+4.1	+2.5
つや姫 酒田市漆曽根 5/11移植	本年	28.0	123	4.6	31.3	10.3
	前年	29.3	141	5.0	25.7	8.3
	平年	26.7	132	4.7	31.2	6.7
	平年比	105	93	-0.1	+0.1	+3.6
雪若丸 酒田市前川 5/9移植	本年	19.4	155	5.5	29.9	8.9
	前年	15.2	138	5.1	25.4	6.5
	平年	22.9	147	5.2	30.9	-
	平年比	85	106	+0.3	-1.0	-

生育診断圃の生育は、「はえぬき」の葉数が進み、茎数が多くなっています。苗質が良好で、移植後速やかに活着し初期茎数の確保につながったと考えられます。「つや姫」「雪若丸」は概ね平年並の生育となっています。

移植後、一部の圃場で植え傷みが発生しましたが、全般に平年並の生育となっています。

### 2 今後の気象予報と水管理

1か月予報(仙台管区气象台・5月26日発表)によると、気温は平年並または高い確率ともに40%、降水量は多い確率40%、日照時間は少ない確率40%と予想されています。

直近の1週間は曇天の予報です。日中は3cm程度の浅水管理(日中止水)で地水温を高め、朝・夕の灌漑で昼夜の日較差を維持し、分けつの発生を促進しましょう。ただし、強風や低温時は稲体を保護するために深水とします。

土壌還元が進行すると根の生育が阻害され、初期生育に大きく影響します。高温の日が続く場合は速やかに水交換・夜間落水・田干しを行い、分けつの発生と根の健全化を図りましょう。

表 分けつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度		生育への影響	対策
水田に足を踏み込むと	わずかに気泡の発生がみられる	なし	—
	気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
	盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる		根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

### 3 田ワキによる生育停滞が見られた場合の対応技術

田ワキによる分げつの抑制や、葉の黄化などの生育停滞等が見られた圃場では、水交換や田干しを行い根圏環境の改善、草勢の回復に努めます。中干し時期（6月20日頃）までに茎数が不足すると予想される場合は、草勢が回復後、分げつを促進するために窒素成分で1kg/10a程度の追肥を行いましょう。ただし、有機・特裁では使用できる資材や窒素量に制限があるため、申請内容・栽培概要を確認して、対応を検討してください。

一度田ワキを改善しても好天が続くと再び田ワキが進行するので、圃場の状態を確認し、水交換や田干し等を行いましょう。

### 4 病害虫防除

#### <葉いもち>

田んぼに放置された取り置き苗は葉いもちの発生源となり、周囲の圃場にも伝染します。まだ補植苗が残っている圃場は早急に処分しましょう。

#### <斑点米カメムシ類>

春先、気温の高い状態が続いたことから、例年より発生が早く、広域で発生していると考えられます。雑草での増殖抑制のため、畦畔・農道等の継続的な雑草対策を徹底しましょう。



写真 問題となっているカスミカメムシ類  
(左：アカヒゲホミドリカスミカメ、右：アカスジカスミカメ)

### 5 雑草対策 ～残草対策も遅れずに～

昨年も移植後の気温が高く経過し、雑草の生育が早かったことから、除草剤の適用葉齢を過ぎてしまい、残草のある圃場が散見されました。残草対策で除草剤を使用する場合は、必ず薬剤の使用時期や使用方法を確認し、殺草限界になる前に遅れず適切に使用しましょう。

### 6 農薬は正しく使い、栽培履歴を記録しましょう！

農薬を使用する場合は、ラベルをよく読み、登録内容は必ず守りましょう。また、誤使用防止のため、確認作業は農薬使用直前にもう一度行う習慣をつけましょう。

**農薬の飛散防止に努めましょう！**

- ①適用作物
- ②使用量・希釈倍数
- ③使用時期（収穫前日数等）
- ④総使用回数（成分ごと）  
等



**STOP！農作業事故！**

**春季農作業事故防止運動 展開中！ ～6月10日**

**これから暑くなります！体が慣れていないうちは無理をせず、水分、休息をしっかりととりましょう**

休息を  
とろう

熱中症予防  
声かけプロジェクト

